

ありがとうポストを設置しよう 中間報告

幸せなまちづくり江別の会
代表 諏訪部 容子

- 事業を紹介する新聞を発行、『ありがとう新聞』と名付けました。
創刊号は7月5日、2号は9月20日に発行しています。
- 創刊号では、『ありがとうポスト』を設置しよう」という事業を理解してもらうため、平成19年に江別市立病院の内科医が大量退職して市立病院が機能しなくなったこと、それは江別市だけに起きたことではなく、日本全国の公立病院などで医療崩壊とも言うべき医師の大量退職が続いたこと、地域医療を守るために各地で住民が立ち上がったこと、兵庫県のお母さん達が始めた「ありがとうポスト」が、各地の病院などに設置されるようになった経緯を説明し、事業への協力を呼びかけました。
- ありがとう新聞は、公民館、地区センター、情報図書館、市民会館など市内の主要施設に配布しました。



- 学童保育「大麻ジュニアクラブ」の子ども達に「ありがとうカード」のためのイラストを描いてもらいました。
力作35点があつまりました。
- 全てをカードにすることは難しいため、その中から12点を選び、人気投票を行うこととしました。
- 江別市民活動センター・あい に協力していただき、市民活動見本市開催に合わせて、掲示させていただきました。
- 気に入ったイラストの番号のところにシールを貼ってもらうことで、人気投票としました。投票は11月で終了しました。



- 同時にありがとう新聞第2号を発行し、子ども達にイラストを書いてもらったこと、市民活動見本市開催に合わせて市民活動センターに掲示すること、同時に人気投票を行っているので、投票してもらいたいことなどが書かれています。
- ありがとう新聞は、公民館、地区センター、情報図書館、市民会館など市内の主要施設に配布しました。
- この事業は三年計画で進める予定ですが、三年かけて、ありがとうの気持ちを伝える大切さを広めたいと思います。

